

「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.3 令和元年8月8日

医療業務に携わる人材（看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等）育成のための進学指導を行います。

→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、長岡崇徳大学等の進学を目指します。

○7月3日(水) 14:00~16:00 医療講演会
対象:1年生受講希望者40人(含 医療専攻希望者23人)
講師:荒川 正昭先生 (元新潟大学長・医師)
 玉木 浩子先生 (新潟医療センター副看護部長)
演題:「医療職を目指す高校生に期待する」
 「看護職を志す高校生へのメッセージ」
会場:新潟西高等学校 会議室



荒川正昭 (あらかわ まさあき) 先生

荒川正昭先生は、長らく新潟大学医学部で医師として、また教授として教鞭をとられて御活躍されてきました。現在は新潟県福祉保健部参与・新潟県健康づくりスポーツ医科学センター長として、県民の健康に広く貢献されています。

新潟西高等学校の「医療専攻」は今年度新入生の該当者が8期生となります。荒川先生は本校の「医療専攻」のスタート時から応援してくださっており、今年度も新入生に向けて御講演をいただきました。

玉木浩子 (たまき ひろこ) 先生

玉木浩子先生は、済生会三条病院や厚生連豊栄病院に助産師としてお勤めされ、現在は厚生連新潟医療センターに副看護部長として御活躍されておられます。看護師の立場から、看護師の現状や魅力などをわかりやすく語っていただきました。

生徒の感想

今回の講演で心に響き、残った言葉があります。それは「病院は真の大学であり、患者さんが真の先生である。」という言葉です。看護の道は学びながら永遠の道を進んでいき、終わりはないのだな、と感じました。知識や能力も大事だが、一番大切なのはやる気だとおっしゃっていました。今、私がすべきことは、進路選択を早めにし、勉強や進路実現の準備に時間をかけて頑張ることだと思いました。…この講演会は夢へ近づく第一歩となりました。

○8月1日(木)

14:30~15:30 医療講演会

対象:2年生医療専攻生

講師:小池 宜子先生

(南部郷総合病院緩和ケア認定看護師)

演題:「緩和ケア」

会場:新潟西高等学校 社会科教室



小池宜子 (こいけ よりこ) 先生

小池宜子先生は、看護部長室付け教育担当看護師長として、真仁会の教育全般に携わっています。2007年から開催している緩和ケア研修は大変好評で、今まで約300名が受講しました。看護学生への講義や実習指導、一般市民への啓蒙、そして新潟県看護協会緩和ケア認定看護師教育課程の委員としても活躍されており、忙しい毎日を送られています。



生徒の感想

「緩和ケア」とはどういう医療なのか、どのような人が対象なのか、何を目指してやっていくのかがはっきりと分かりました。ガンの患者さんは、それぞれ色々な想いがある目標があって未来がある、それを残された時間にどれだけ果たしてあげられるかを考え、多職種が協力してサポートする医療だと感じました。…小池先生の言葉でもあったように、看護を通して心が揺れたり、心が傷ついたり、心が溢れたりする事を宝物とし、学ぶ原動力としていきたいと思いました。そして、傷ついたり痛んだりする事を糧に成長し、いつか小池先生のように看護をもっと好きになり、楽しく看護ができるように頑張りたいと思いました。